

4部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5ガス栓や器具栓を閉める。



6ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

ご契約いただいた事業者へ連絡する。

- たとびた警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

8 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れで、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

《警報音を止めたいとき》

警報停止スイッチを押すと、

- ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は、黄(CO警報)ランプが5秒ごと1回点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲の空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

1ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2警報器周囲の空気の汚れがなくなると、ランプの点滅や警報音が止まる。

火災以外の理由で火災警報音が鳴ったときは

《火災警報音を止めたいとき》

警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。

- 火災警報音を5分間止めることができます。
- ※警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。5分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

1ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2警報器周囲の煙がなくなると、ランプの点滅や警報音が止まる。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間開けられたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響をおよぼす室内の滞留成分(シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど])の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

《ガス警報・CO警報》

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコ煙を警報器に吹きかけいませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

《火災警報》

- 湯気が直接かかっていませんか。
- タバコ・焼き魚・線香などの煙を警報器にかけていませんか。
- くん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。

おたがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音声や鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

停電などの電源断が起きたときは

停電や、電源プラグを抜くなどの一時的な電源断が起きたときは、警報器から音声や鳴り、警報器はバックアップ電源駆動に移行します。

- ※停電が解消されたり、電源プラグを差し込んでAC電源を供給すると、警報器から音声や鳴り、通常の電源駆動の監視状態に戻ります。
- ※バックアップ電源駆動中は、内蔵電池が持つ限り動作します。内蔵電池が少なくなると、警報器からお知らせ音声や鳴ります。(P.5「内蔵電池が少なくなったときは」参照)
- ※長時間の停電などで内蔵電池の容量が少なくなった場合は、再度停電などの一時的な電源断がおきた際、バックアップ電源駆動時間が短くなりますのでご了承ください。

バックアップ電源駆動中でも、警報・注意報や故障・有効期限切れのお知らせを行います。

- ※一部、ランプ表示が異なる場合があります。詳細はP.4「ランプ表示・音声出力の事象一覧表」をご確認ください。

サーバーからは連携サービスに関連したお知らせを行います。鳴動する音声やアラートとの連携の詳細については、アプリをご確認ください。

バックアップ電源駆動を停止したいときは

- バックアップ電源駆動を停止したい場合は、警報停止スイッチを約10秒間押してください。「ピーッ ピピーッ ピー」警報器を停止します。の音声や鳴った後に、警報器の電源がオフになります。
- ※電源オフになった後に、再度警報停止スイッチを押しても、バックアップ電源駆動は行いません。
- ※警報器の電源がオフになった後に、停電が解消されたり、電源プラグを差し込んでAC電源を供給すると、P.6「使用方式」の電源投入時の動作を行い、警報器が監視状態になります。

《取り付けた》

1警報器を木ねじに引っ掛ける。

2木ねじを締め付けて固定する。

3電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

《確認》
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは

殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行ってくださいと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

△警告

殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに殺虫剤を使用すると、使用後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。

△注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。転落、転倒、落下の原因になります。

1.警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

《準備するもの》

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(㊤または>PP<表示)
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも(1本)
- 粘着テープ

《処置のしかた》

- 警報器を取り外してください。
- 警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。
- ポリ袋と電源コードの間にきりができないよう、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。
- ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

《準備するもの》

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(㊤または>PP<表示)
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 輪ゴム(3本)
- 粘着テープ

《処置のしかた》

- ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード巻き取り部分を輪ゴム(3本)でしっかりとめてください。

■取付フックの場合

《取り外しした》

1電源コードをコード振れ止めから取り外す。

2本体を持ち上げて取り外す。

《取り付けた》

1警報器を取付フックに引っ掛ける。

《確認》
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

2電源コードをコード振れ止めに取り付け。

■木ねじの場合

《取り外した》

1電源コードをコード振れ止めから取り外す。

2木ねじをゆるめて警報器を取り外す。

《注意》
強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜れたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。

《おたがい》
粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

定期点検

日常点検
日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。

※緑(電源)ランプが点灯している場合は、ご契約いただいた事業者にご連絡いただき、交換の手続きをしてください。(P.11「故障かな?と思ったら」を参照ください。)

定期点検

《本体機能の点検》

警報器が正常に動作していることを確認するために、警報停止スイッチによる点検を行ってください。

- 警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と鳴り緑(電源)ランプが点滅します。
- 「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。
- 全ランプが1秒間点灯し、「警報器正常です」が鳴ります。過去約10日以内に警報が作動した場合は、全ランプが点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)
- 一定時間後、通信の判定結果を表示します。通信正常時:白(通信)ランプが点灯し、「電波が受信できています」が鳴動通信不良時:白(通信)ランプが高速点滅し、「通信できません」が鳴動※通信の判定は、最大3分間かかる場合があります。

《警報音の確認方法》

- 警報停止スイッチを約3秒間押すと、「ピーッ ピピーッ」と開始音が鳴ります。
- 警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。

動作順	音声内容	緑(電源)	赤(ガス警報)	黄(CO警報)	赤(火災警報)
1	クーワーカンカンカン 火事です!火事です!	点滅	消灯	消灯	点滅
2	クーワーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください	点滅	消灯	消灯	点滅
3	クーワーピーピーピーッ ガスがもれていませんか クーワーピーピーピーッ クーワーピーピーピーッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点滅	消灯	消灯
4		点滅	消灯	点滅	消灯

- 「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。
- ※音声警報中に本機能を終了したい場合は警報停止スイッチを押すと「ピー」と鳴り、終了します。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑(電源)ランプが消灯している。	電源プラグが抜けていませんか。 ブレーカーが切れていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ブレーカーを入れてください。
警報器が通かっている。	—	—
緑(電源)ランプが緑(点滅)している。	長時間の停電で、警報器の電源が切れていませんか。 長時間の停電で、警報器の電源が切れていませんか。	長時間の停電による電源オフでなければ警報器の電源が切れていませんか。ご契約いただいた事業者にご連絡いただき、交換の手続きをしてください。
火災、ガスもれ、COの発生、異常な音、異常な臭い、異常な煙、異常なランプが点滅したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.8参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅や警報音が止まります。鳴りやまない場合はご契約いただいた事業者までご連絡ください。

ガス機器の異常が考えられます。

ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。

ガス機器の点検を受けてください。(有償)

それらの機器も点検を受けてください。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

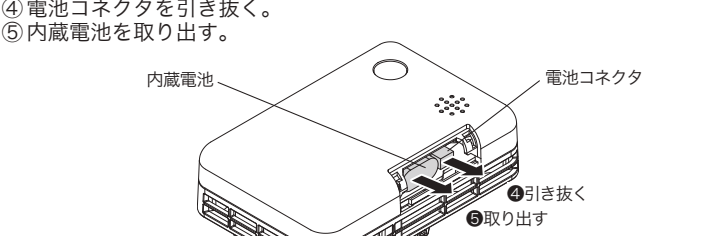
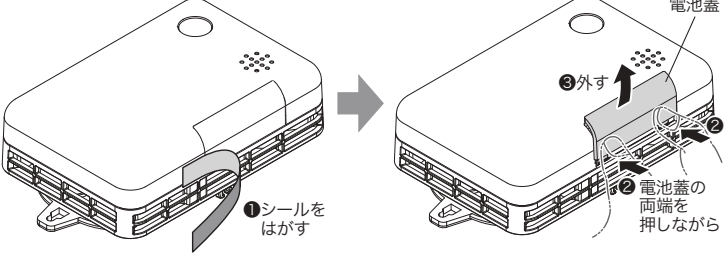
警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

警報器の故障を知らせています。

《内蔵電池の取り出し方》

- 警報器左側面の製造番号シールをはがす。
- 電池蓋の矢印部分を押す。
- ②の状態で電池蓋を押しながら、電池蓋を外す。



電池コネクタを引き抜く。電池電池を取り出す。

アフターサービス

- この警報器は、5年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- お客さまが、この警報器をリース契約により借り受けてご使用になれる場合は、そのリース契約期間中に限り無償保証(最長で取り付け後5年間)させていただきます。ただし、当該リース契約が、そのリース契約期間中に解約・解除等により終了した場合は、当該リース契約の終了をもって、当該警報器の無償保証期間も終了(無償保証の対象外)とさせていただきます。
- 保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となることとなります。お取り付け時にご確認ください。
- この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間で、有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器と買い替えてください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ご契約いただいた事業者までご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、ご契約いただいた事業者までご連絡ください。
- 引越しをされるときは、ご契約いただいた事業者までご連絡ください。
- 他の地区に引越されたときは、最寄りのガス事業者に連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。

- 有効期限は、保証書記載の年月よりも、警報器本体に貼ってある有効期限ラベルに記載の年月が優先されますので、有効期限ラベルの年月を確認してください。

仕様

項目	仕 様
種 別	光電式住宅用防災警報器
型 式 番 号	住警第2022～1号
検 知 原 理	検知方式(光電式)
感 知 性 能	2種
住宅用防災警報器 検定合格品	
対 象 ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO
検 知 方 式	半導体式
ガ ス 注 意 報	作動条件 ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報 赤(赤(ガス警報)ランプ5秒ごと1回点滅
ガ ス 警 報	作動条件 燃発下限濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報 赤(赤(ガス警報)ランプ点滅
検 知 方 式	電気化学式
CO 注 意 報	作動条件 300ppmのCOに対し 5分以内に注意報 赤(赤(ガス警報)ランプ5秒ごと1回点滅
CO 警 報	作動条件 550ppmのCOに対し 5分以内に警報 300ppmのCOに対し 10分以内に警報 赤(赤(ガス警報)ランプ点滅
検 知 方 式	音声合成警報音
一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA)都市ガス用ガス警報器検査規程 認定合格品	
警 報 音 量	70dB(A)/m以上
電 源	AC100V±10V 50/60Hz バックアップ電源 二次電池(ニッケル水素充電池(2本組)) DC2.4V
バックアップ電源 動作条件	停電等の一時的な電源断時に24時間以上駆動
消費電力	※待機時の電池消費電率或使用条件により異なります。
共通 無線部	LTE (Cat. M1)
付属機能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
使用温度範囲	0℃～+40℃ (結露しないこと)
寸 法 ・ 質 量	幅85×高さ125×奥行42mm(突起部を除く) 約290g
電 源 コ ー ド	長さ25m (約22mは警報器背面に巻取可能)
付 属 品	コード振れ止め×3、木ねじ(φ3.1×10mm)×3、木ねじ(φ3.1×16mm)×1、取付フック×1、ピン(φ3×20mm)×10、取扱説明書(保証書) (本書)×1、かんたん設定ガイド×1

※バックアップ電源駆動時は、一部ランプ表示が異なる場合があります。※ 燃発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を燃発限界といって、最高濃度を燃発上限、最低濃度を燃発下限といいます。

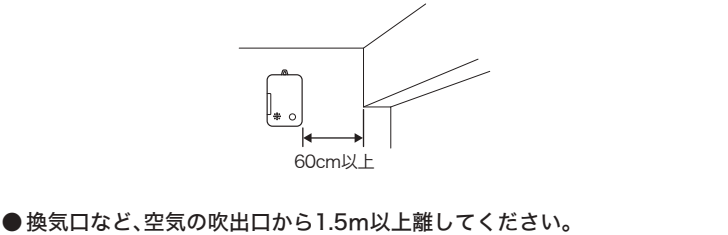
取付位置の確認

△注意

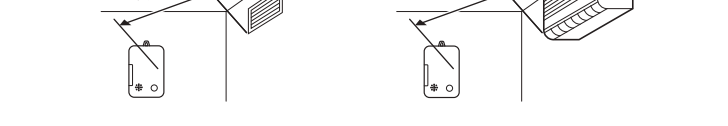
正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。取り付けではない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

《正しい取付場所について》

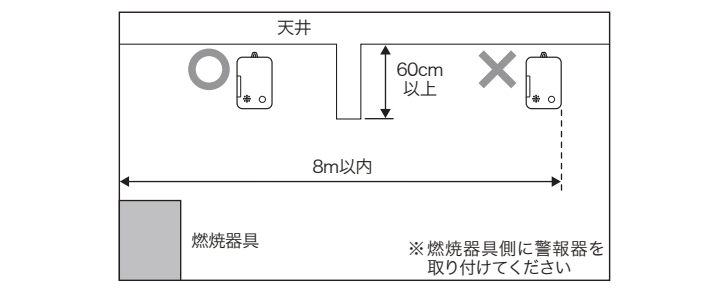
- 煙、ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- 煙、ガス、COが滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が22～30cmの位置に取り付けてください。
- たれ壁やひかりから60cm以上離してください。



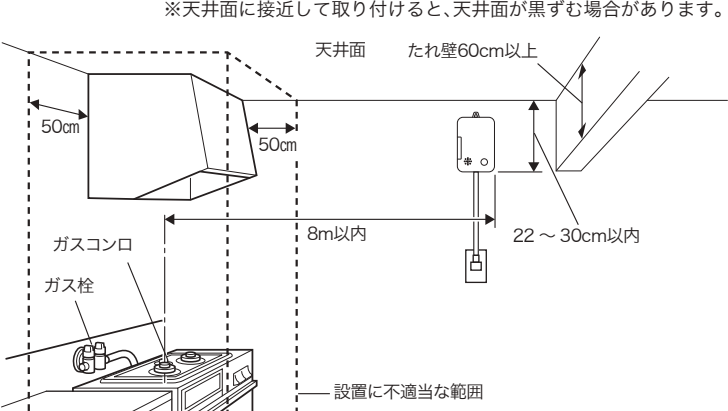
換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



●天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



※天井面に接近して取り付けたと、天井面が黒ずむ場合があります。



※警報器の取り付けや取付位置を変える必要が生じたときは、ご契約いただいた事業者までご連絡ください。

《無線通信について》

- 周囲に、電波を遮断したり無線基地局との通信を妨害するような金属製の家具・家電製品が無いことを確認してください。
- 周囲に、LTE回線を用いた通信機器など電波干渉を起こしやすい機器がある場合は、障害物を移動するなど通信状況の改善を行ってください。

《取り付けてはいけない場所について》

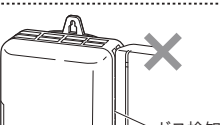
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けてください。

- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
- アルコン等で警報器があることがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すぐ周周の入る場所。
- 30cm以上(警報器箱)のたれ壁などの下。
- たれ壁60cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
- 警報が遅れたり、検知できないことがあります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
- センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所。
- 食器棚などから60cm以内の場所。
- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
- 使用時でないで電源を入れない場所。
- 警報器としての機能を果たしません。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
- 警報が遅れます。
- 揺動、衝撃の激しい場所。
- センサの故障の原因になります。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がくつ場所。
- 感電や電気的故障の原因になります。

- 温度が0～+40℃の範囲をこえる場所。
- 警報器としての機能を果たしません。誤作動の原因になります。

- 照明器具の近く。
- (可能な限り避ける)

- ガス検知部に他の機器などを密着させないでください。
- 警報が遅れることがあります。



●業務用・工業用。

家庭用です。業務用・工業用ではありません。

●屋外。

屋外用ではありません。

著作権・商標等について

- ・本警報器の搭載のソフトウェアは著作権であり、著作権、著作権人権格をはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。
- ・機器内部で、以下のソフトウェアが組み込まれたものを使用しています。FreeRTOS(MIT License) 参照URL <https://opensource.org/licenses/mit-license.php>
- ・LTEは欧州電気通信標準化協会(ETSI)の登録商標です。
- ・QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

新コスモス電機株式会社
〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2 TEL.03)5403-2707

保 証 書
このたびは警報器をお取り付けいただき、ありがとうございます。お取り付けいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名 住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器
型 式 MC-732M

記

- 保証期間
警報器本体の保証期間はお取り付け後5年間で、お客さまが、この警報器をリース契約により借り受けてご使用になれる場合は、そのリース契約期間中に限り無償保証(最長で取り付け後5年間)させていただきます。ただし、当該リース契約が、そのリース契約期間中に解約・解除等により終了した場合は、当該リース契約の終了をもって、当該警報器の無償保証期間も終了(無償保証の対象外)とさせていただきます。

- 保証の内容
取扱説明書による正常なご使用状態で、前記の保証期間内に故障した場合には、お申し出により無償にてお取り替えさせていただきます。

ご契約いただいた事業者へご連絡のうえ、本書をご提示ください。なお無償でお取り替えできない場合について「4.保証の適用除外」の項目に記載しておりますのでご確認ください。

- 保証の範囲
保証は警報器本体を対象とします。内蔵電池については、保証対象外です。警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。

- 保証の適用除外
保証期間内であっても次の場合は有料点検・有料取り替えとなります。
(1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(2) お取り付け後の取付場所の移動、改造による故障および損傷。
(3) 地震、風水害、落雷、その他の天災、地変による故障および損傷。
(4) 火災、爆発、浸水、腐食、酸性雨、腐食性の有毒ガス、ほこり等、ならびに異常気象、異常電圧、異常電磁波などによる故障および損傷。
(5) 動物噛み、昆虫等による故障および損傷。